

New Sophia Hospital

ニューソフィアホスピタル

福岡歯科大学医科歯科総合病院

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号 TEL092(801)0411

No.29
2022.05



病院の理念

私たちは、地域と社会、臨床と研究、医科と歯科、過去と未来を「つなぐ病院」として、豊かな人間性を備えた有能な医療人を育成し、地域の皆様に信頼され続ける病院をめざします。

病院の基本方針

1. 患者中心の医療
 - ・患者さんの人格を尊重した優しさのある医療を提供し、地域の信頼に応えます。
2. 安全・安心な高度医療の提供
 - ・医科歯科総合病院として多職種連が協働し、安全・安心で高度な医療を推進します。
3. 地域医療への貢献
 - ・地域の医療・介護・福祉施設と連携し、地域の皆様の健康維持に努めます。
4. 全人の医療を実践できる医療人の育成
 - ・医療人としての誇りを持ち、患者さんの身になって考えることのできる医療人の育成に努めます。

病院長就任挨拶



福岡歯科大学医科歯科総合病院
病院長 坂上 竜資

福岡歯科大学医科歯科総合病院は、2020年9月より、新しい建物での診療を開始しました。皆様にも大変好評な新病院は、3階までの吹き抜け構造と正面のステンドグラスを備え、環境に配慮した建造物として国土交通省の「サステナブル建築物先導事業（省CO2先導型）」にも採択されました。

本院は1973年に「福岡歯科大学附属病院」として開設し、2005年に「福岡歯科大学医科歯科総合病院」と名称変更し、現在では12の専門歯科と24の医科診療科とからなる総合病院となっています。また、患者様への安心と安全を提供するべく、日本医療機能評価機構認定病院としての認証を得ています。日々進歩する医療を地域の皆様に提供するため、水田祥代理事長の指揮のもと、災害時にも機能する免震構造を備えた建物内に、最高性能のCT、MRI装置をはじめとする最新の検査・治療機器を完備しました。さらに、院内に

全身と口腔内を総合的にカバーできる健診センターを開設し、医科歯科連携を生かした様々なサービスに取り組んでいます。

われわれは病院の4つの基本方針として、1. 患者中心の医療、2. 安全・安心な高度医療の提供、3. 地域医療への貢献、4. 全人の医療を実践できる医療人の育成を掲げ、すべての職員で理念を共有しています。新たに採用した病院のロゴマークは、地域と社会、臨床と研究、医科と歯科、そして過去と未来を「つなぐ病院」としての思いを込め4つの環としました。

本院は地域の中核病院としてのみならず、福岡学園の一部として福岡歯科大学、福岡看護大学、福岡医療短期大学、介護老人保健施設（サンシャインシティ）、2つの特別養護老人ホーム（サンシャインプラザ、サンシャインセンター）の関連病院としても機能しています。現在、学園敷地内では2022年7月竣工予定の50周年記念講堂新築とメインストリート工事を行っており、更に大規模なキャンパス整備も計画しています。これに伴い、患者の皆様には駐車場への誘導などでご迷惑をおかけするかもしれません。安全第一ですすめておりますので、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

これからも皆様に信頼され、貢献できるより良い病院を目指す所存です。豊かな人間性を備えた有能な医療人を育成し、安全で質の高い思いやりのある病院となるよう努めて参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

なぜ、追加(3回目)接種が必要なのですか

予防接種センター長 福岡看護大学教授 日本ワクチン学会理事長 岡田 賢司

わが国で昨年から多くの方々に接種された新型コロナワクチンは、感染や重症化を予防する効果が確認されました。ただ、これらの効果は時間の経過とともに徐々に低下していくことは想定されていました。実際、現在流行中の変異株（オミクロン株）感染に対する発病予防効果は著しく低下すること、入院を予防する効果も2回目接種後6か月以上経てば半分以下に低下することが報告されてきました。

一方、3回目接種によりオミクロン株感染に対する感染予防効果、発症予防効果や入院予防効果が回復することが国内外の研究で分かってきました。3回目接種は、その種類に関わらず、時期が来れば、早めに受けていただくことが重要です。このウイルスに感染して発病すると、若い方でも時に重症化することがあり、また回復後も罹患後症状（いわゆる後遺症）が残る場合もあります。重症化リスクの高い高齢の方々はもとより、若い方々も自らの健康を守るだけでなく、周りの大切な方々のためにも接種していただくことが望まれます。

福岡市の3回目接種率は、4月25日時点で接種券が発送されている全年代で67%、65歳以上では91%でした¹⁾。高齢者の接種が上昇したことにより、高齢者の重症化や死亡のリスクが低減することが期待できます。一方、まだ接種券が届いていない若い方もいらっしゃいますが、30代50%、20代42%、10代（12歳以上）23%です¹⁾。

重症者・死者を最小限にするためには、できるだけ感染者を減らすことが最も大切です。感染者を減らすことは、ワクチン接種だけでは達成できません。これからも、・三密を避ける、・マスクなしの対面での15分以上の会話を控えるなども引き続き続けていただきたいと思います。

1) 福岡市ホームページ：福岡市 福岡市における新型コロナウイルスワクチンの接種について (fukuoka.lg.jp)

新採用者合同オリエンテーションを行いました

サービス・マナー向上委員会委員 副病院長 中畠 高子

4月1日、新しく病院に採用された職員を対象に、『新採用者合同オリエンテーション』を行いました。医科医師10名、歯科医師14名（研修医除く）、看護師9名、看護補助者1名、歯科衛生士8名（口腔医療センター配置者及び人事交流者含む）、放射線技師1名、管理栄養士1名、臨床検査技師1名、事務職員1名の計46名です。歯科の研修医は別のプログラムでオリエンテーションを行っています。

新しく就任された坂上病院長のご挨拶に始まり、これから当院で安全に医療を行う上で必要となる病院の概要、当院の医療安全管理、感染防止対策、医療人としての接遇、薬局・臨床検査室・放射線科の概要そして最後に病院案内というプログラムです。

緊張した中にも熱心に研修を受けられる採用者の皆さんに、病院が目指していること、安全で良質な医療を提供していくための基本的なことを理解していただけたと考えています。

ほぼ半日の時間を費やしましたが、講義を担当していただいた先生方や各診療科各部署の理解と協力を得て今年もこのオリエンテーションから新採用者の受け入れが始まりました。これから各部署で研鑽を重ねながら、それぞれの職種の力を合わせ、病院の使命を果たしていきます。



坂上病院長挨拶



感染防止対策 鳥巣ICT委員長



新採用者研修風景



この度、4月1日付けで、歯科保存学分野教授、保存(むし歯)・歯周病科科長を拝命いたしました。私は、2000年に長崎大学歯学部を卒業後、九州大学大学院歯学府博士課程を修了し、九州大学病院口腔機能修復科助教を経て、2014年10月に福岡歯科大学口腔治療学講座歯科保存学分野講師に着任、同分野准教授を経て、現在に至っています。

数多くの臨床歯科医を育成されるとともに、前病院長も務められた前任の阿南 壽教授(現病院顧問)のご指導を仰ぎ、日本歯科保存学会歯科保存治療専門医として、歯科保存治療に従事してまいりました。また、新病院開院時に開設された健診センターにおいて、橋本晶子センター長の下、口腔健診や学校歯科健診にも携わってきました。

専門は、治療用顕微鏡(マイクロスコープ)を用いた歯内療法で、歯の神経(歯髄)に関連する病気(歯髄炎・根尖性歯周炎)等が対象です。

当院では、マイクロスコープおよび歯科用コーンビームCT

歯科保存学分野教授 保存(むし歯)・歯周病科科長
松崎 英津子

装置を備え、日本歯科保存学会、日本歯内療法学会の専門医認定医を中心に、精密な根管検査に基づく歯内療法を実施しており、近隣歯科医院からの紹介も多くいただいています。併せて、病気の根を外科的に処置する外来小手術(外科的歯内療法)も実施しています。また、歯が原因となって生じた蓄膿症(歯性上顎洞炎)に対して、耳鼻咽喉科・口腔外科・放射線科との連携によるチーム医療を実践しています。

いつまでも大切な自分の歯で噛めるように治療を行い、その歯をお口の中で機能させていくのが「歯科保存治療」です。患者さん、歯科医師、歯科衛生士とのチームアプローチにより、オーダーメイドの質の高い歯科保存治療を提供していくたいと考えています。現在、日本歯科保存学会が発信する「う蝕治療ガイドライン」の作成にも携わっており、超高齢社会の歯科医療において喫緊の課題である「根面う蝕」に対する取組みにも力をいれています。様々な科と連携しながら、地域歯科医療に貢献できるよう努める所存です。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



子どものお口から成長発達をサポートする医療

皆様、こんにちは。

4月より当病院の小児歯科診療科長を拝命いたしました岡 暁子(おか きょうこ)でございます。私が小児歯科医になろうと思ったきっかけは、歯学部の学生時代に、乳歯の下で育っている永久歯のエックス線写真を見たことです。乳歯の下にある永久歯を見て、「顎の骨の中でうまく永久歯の卵が育つために乳歯があるんだ。乳歯って永久歯を守っているんだ。乳歯ってとっても大事なんだ!」とシンプルに感激し、卒業したら小児歯科を勉強する!と決めました。以来、小児歯科医の仕事は、むし歯や噛み合わせを治療する先に、子どもたちが将来、むし歯や歯周病のない健康で美しい永久歯を獲得できるように導くことである、という信念で診療に取り組んでいます。

小児歯科の診療内容は、むし歯や歯並びの治療だけでなく、粘膜にできた腫瘍や過剰にできてしまった歯の抜歯など外科的な領域を含めて多岐にわたります。どのような症例において

成育小児歯科学分教授 小児歯科科長 小児口腔外傷センター センター長
岡 暁子

も、専門性の高い医療をもって治療にあたれるように日々研鑽を積んでおります。当科では、日本小児歯科学会小児歯科専門医が6名、うち3名は専門医指導医として診療に従事しております。

また、現代の子どもたちは、転びやすく手をつかないので、顔面を強打するような外傷も多くなってきています。子どもの急な歯を含めた口腔の外傷については、本院では小児口腔外傷センターとして、予約外、診療時間外の患者さんを受け入れ緊急時にも対応しております。

子どもの場合、どんな疾患においても、常に成長発達を視野にいれて治療をプランニングしなくてはなりません。また、自分の気持ちをうまく表現できない子どもたちへの特別な配慮も必要です。治療の対象となる子どもたち自身だけでなく、保護者の方々にも寄り添った診療を心がけております。小児科、耳鼻咽喉科など子ども達の疾患と関わりが深い医科診療科ともスムーズな連携がとれていることは、本院の特徴でもございます。子どものお口を始まりとして、全身の健康な成長発達に貢献できる小児歯科医療を展開してまいります。

どうぞ宜しくお願いいたします。



口腔健康科学分野教授 総合歯科・高齢者歯科副科長
谷口 奈央

このたび4月1日付けで、福岡歯科大学口腔保健学講座口腔健康科学分野・教授を拝命いたしました。

私は、1998年に九州大学歯学部を卒業し、2002年に九州大学大学院博士課程（予防歯科学）を修了しました。その後、2005年

11月に福岡歯科大学総合歯科学講座総合歯科学分野（当時、廣藤 卓雄教授主宰）に赴任し、福岡歯科大学医科歯科総合病院総合歯科・口臭クリニックで10年間、総合的歯科診療と口臭診療を学びました。2015年5月に口腔保健学講座口腔健康科学分野（当時、埴岡隆教授主宰）に移ってからは、現在米田 雅裕教授の主宰される総合歯科・口臭クリニックで歯科初診業務や口臭診療に従事するとともに、乳幼児歯科健診や職域での健康イベント開催、歯科からのタバコ対策など地域保健活動にも取り組んでまいりました。さらに、2020年秋の新病院開院に合わせて新設された、橋木晶子センター長の主宰される健診センターでは、構成員として口腔健診や学校歯科健診を担当しています。

これから抱負としましては、地域の方々に、歯と口の健康がいかに健康寿命の延伸に重要であるかを理解していただき、自ら口腔の健康を管理し改善する行動をとっていただけるよう、より一層精進して参る所存でございます。特に、生涯を通じて健やかに過ごすための予防行動を開始する時期は、早いほど効果的であると考えます。そこで、妊娠婦歯科健診、乳幼児歯科健診、学校歯科健診、職域歯科健診における健康教育・保健指導を充実させ、また健康イベントや講演などを通して、若い世代に歯と口の健康の重要性をお伝えする活動を、積極的に継続して実施してまいります。また、こうした活動に、学生や若い歯科医師・歯科衛生士にも一緒に参加してもらうことで、地域の健康課題を理解し解決に向けて行動できる、地域の方々に慕われ社会に役立つ歯科医師・歯科衛生士の育成に努めて参る所存です。

最後に、歯と口の健康は、健康生活を支える栄養・食生活、身体活動、社会活動と密接に関係しておりますことから、それぞれの専門職の先生方にも、どうか一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。



内科学分野(呼吸器内科)教授 介護老人保健施設施設長(サンシャインシティ施設長)
松元 幸一郎

呼吸器内科のご紹介

令和4年4月から福岡歯科大学医科歯科総合病院の内科部門に呼

吸器内科が新設されました。呼吸器は疾患の種類が多く、主要な疾患としては気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、急性気管支炎、肺炎、間質性肺疾患、肺がんなどがあります。気管支喘息は子供から高齢者まで幅広い年齢層で生じ、息苦しい発作を繰り返します。

また、COPDは喫煙によって次第に肺の構造が崩れ、酸素を取り入れる働きが低下します。同時に息切れが進行し、日常生活にも支障をきたすようになります。近年では吸入タイプの薬を毎日規則的に使用することで、良好に治療できるようになっています。診療を担当する松元は長年にわたり気管支喘息やCOPDの診療を経験しており、吸入薬の上手な使い方や気をつけるべきことをわかりやすく説明いたします。他の疾患についても丁寧にご相談に応じますので、どうぞお気軽に受診ください。担当日は火曜日と水曜日（いずれも午前）です。

診療担当者: 松元 幸一郎

略歴:

九州大学医学部卒。九州大学病院呼吸器科医員、同研究生、カナダMcMaster大学研究員、九州大学病院呼吸器科助教、同講師、九州大学大学院医学研究院呼吸器内科学准教授を経て、2022年4月1日、福岡歯科大学総合医学講座内科学分野教授に就任。専攻は呼吸器内科学。博士（医学）。





**眼科学分野教授 眼科科長
大島 裕司**

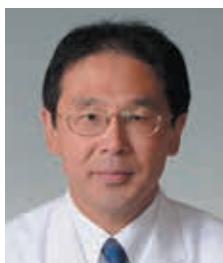
令和4年4月1日付けで、前任の川野庸一教授より引き継ぎ、眼科診療科長、教授として就任いたしました。当院眼科は、平成22年4月に新設され、開設以降、多くの地域の患者さんの診療・治療が行われております。川野教授は、数多くの眼科医を指導され、医局員は臨床・研究・教育に携わってきました。そのような伝統ある福岡歯科大学医科歯科病院眼科にこの度就任せさせていただき、大変光栄に思っており、また身の引き締まる気持ちです。

私は、平成5年に長崎大学医学部を卒業し、九州大学眼科学教室（猪俣孟教授）に入局し臨床、研究に従事して参りました。大学院卒業後、平成12年から平成15年まで米国のJohns Hopkins University Wilmer Eye Instituteに留学、帰国後は別府医療センター、北九州市立医療センターに勤務し臨床に従事していました。平成20年から28年まで九州大学眼科に戻り、石橋達朗教授、園田康平教授の下、臨床・研究・教育に努めました。その後、福岡大学筑紫病院、済生会福岡総合病院にて診療、研究に従事し、昨年度令和3年4月から当院に着任しております。

専門は網膜硝子体疾患で、特に加齢黄斑変性をはじめとする眼内血管新生疾患の診断・治療を中心に診療、研究に従事

しております。網膜疾患の診断・治療はここ数年で大きな変革を遂げています。加齢黄斑変性、糖尿病黄斑症、近視生脈絡膜新生血管、網膜静脈閉塞症などに対する抗血管新生療法は、めざましく発展しております。加齢黄斑変性とは、中高年の中途失明の主要疾患で我が国でも失明原因の第4位の疾患です。症状はゆがんで見えたり（歪視）、視野の中央部が見えなくなる（中心暗点）などです。以前は治療困難な疾患でしたが、抗血管新生薬療法によって視力維持が可能になってきました。当院でも積極的に治療を行っております。また従来通り、白内障に対する手術治療、網膜剥離に対する手術加療、増殖糖尿病網膜症をはじめとする眼内増殖性疾患や黄斑疾患に対する網膜硝子体手術、縲縛に対する手術加療も積極的に行っております。白内障の手術加療は通常は入院での加療を行っておりますが、状況によっては日帰りでの手術にも対応しております。

またコロナ禍の状況が落ち着けば、地区の先生方との勉強会や研究会も行う計画をしております。地域の先生方との連携を深めるとともに最新の知識や治療を学び、患者さんの見える喜びをいつまでも維持できるよう努力していきたいと思っております。今後とも地域に根ざした医科歯科大学病院としての役割を果たせるよう、頑張って参りますのでよろしくお願いいたします。



**整形外科学分野教授 整形外科・リハビリテーション科科長
西尾 淳**

令和4年4月より福岡歯科大学総合医学講座整形外科学分野教授を拝命いたしました。私は平成7年に福岡大学医学部を卒業し、福岡大学医学部整形外科に入局いたしました。その後、平成11年から大学院生として、福岡大学医学部病理学教室でヒト肉腫細胞株の樹立と骨軟部腫瘍発生にかかる分子細胞遺伝学的異常の解明の研究に携わりました。大学院を早期終了後、平成15年からの3年間は米国ネブラスカ大学医学センターで骨軟部腫瘍のゲノム研究に従事しました。平成20年4月より福岡大学医学部整形外科の骨軟部腫瘍班のチーフとして、安全でより良質な医療を提供できるよう日々取り組んでまいりました。

私はこれまで大学病院や関連病院で整形外科専門医として、変形性関節症、骨粗鬆症、脊椎・脊髄疾患、リウマチ性疾患、スポーツ障害、外傷に至るまで数多くの保存的療法と外科的治療に携わってきました。また、日本整形外科学会のリハビリテーション認定医を取得し、小児から高齢者までの幅広い年齢層で多岐にわたる整形外科疾患のリハビリテーション医療に取り組んでまいりました。私の専門である骨軟部腫瘍はチーム医

療として対応すべき疾患として認識されており、腫瘍内科、小児科、放射線科などと緊密に連携・協力して集学的治療を行い、肉腫治療の充実、治療成績の向上を図ってきました。最近では、骨転移を通じて「がん診療」に積極的に取り組み、多様化する患者さんのニーズに応えて生活の質（QOL）の向上に貢献することで、整形外科の運動器診療科としての認知度と存在価値をさらに高めるよう努めてまいりました。

今後の抱負について述べさせていただきます。まずは教育ですが、学生に明確な見通しや目的意識を持たせ、学生自らの思考力を鍛え、近年難化する歯科医師国家試験に合格するだけの知識を身につけてもらうよう全力をあげて取り組む所存でございます。次に研究ですが、臨床上の疑問を一つずつ解決し、病態解明につなげ、最終的に患者さんへの還元を目標に進めてまいります。この際、可能な限り公的資金による研究を目指します。最後に診療ですが、近隣医療機関との連携を強化し、ご紹介いただく患者さんが増えるよう努めてまいります。

これからも、各診療科との連携を大事にしながら診療を行いたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。



麻酔管理学分野教授 麻酔科(ペインクリニック)科長
池田 水子

2022年4月1日より、福岡歯科大学、診断・全身管理学講座、麻酔管理学分野担当教授に着任いたしました。前任の谷口省吾先生は23

年間勤め上げられ、2022年定年退任され、その後を私が引き継いでおります。私は福岡生まれ、福岡育ちで、南当仁小学校、当仁中学校、修猷館高校、九州大学とずっと福岡で過ごしてきました。平成14年に九州大学医学部卒業後は、九州大学麻酔科蘇生科医局に所属し、九州大学病院、九州医療センター、九州大学別府病院、浜の町病院等、関連病院で麻酔科医として研修・勤務を続けてまいりました。

現在麻酔管理学分野に所属する医局員は日本麻酔科学会専門医2名、日本歯科麻酔学会専門医2名、認定医1名、医員4名で総勢9名です。福岡歯科大学医科歯科総合病院では、医科の手術は、外科、整形外科、耳鼻科、眼科手術を行っています。歯科の手術は、口腔外科による上下顎骨形成術、口腔癌手術等の長時間手術が頻繁に行われています。また、歯科では、歯科治療恐怖症、異常絞扼反射、精神発達遅滞、認知症、小児等、局所麻酔で歯科治療を受けれない人に対して、精神鎮静法という医科では行っていない管理もしています。

病院から麻酔科に求められているのは手術件数と麻酔の質の向上だと考えます。手術件数は全国的に増加しており、医科の病院はどこも麻酔科医不足が深刻な問題となっています。診療科別の医師数は麻酔科で増加しているにもかかわらず、手術件数の増加に加えて、働き方改革・研修医の勤務間インターバル確保など勤務緩和が義務付けられ、それを支える人材の勤務の繁忙感は年々強まり疲弊しています。これまで、医師事務作業補助者への業務の移管、IT活用による業務の効率化、手術枠の有効利用などに取り組み、より良い環境で効率よく安全な周術期管理を行えるよう取り組んできました。これまでの経験を生かして柔軟な働き方と安全で質の高い周術期医療を両立するために、関係スタッフと協力して取り組んでいきたいと考えています。

医療の進歩は目覚ましく、治療ガイドライン・医薬品・医療機器等つぎつぎ変化し更新されています。現在はITを通じて自己学習できる環境が整っています。医局員には学習機会の提供を積極的に行い、安全で質の高い麻酔科医療を提供していくよう、医局員全員が成長していくような教室を作れるよう努力していきます。

病院周辺道路整備工事に伴う出入口の変更について

病院周辺道路整備工事に伴い、**令和4年7月10日迄の間**、病院までの歩行者、車両の通行ルートが変更となります。誘導員の案内に従ってご通行ください。
なお、南門、北門から病院への通行はできませんので正門をご利用下さい。



令和3年度患者満足度調査

期間:令和3年12月6日(月)～令和3年12月10日(金)

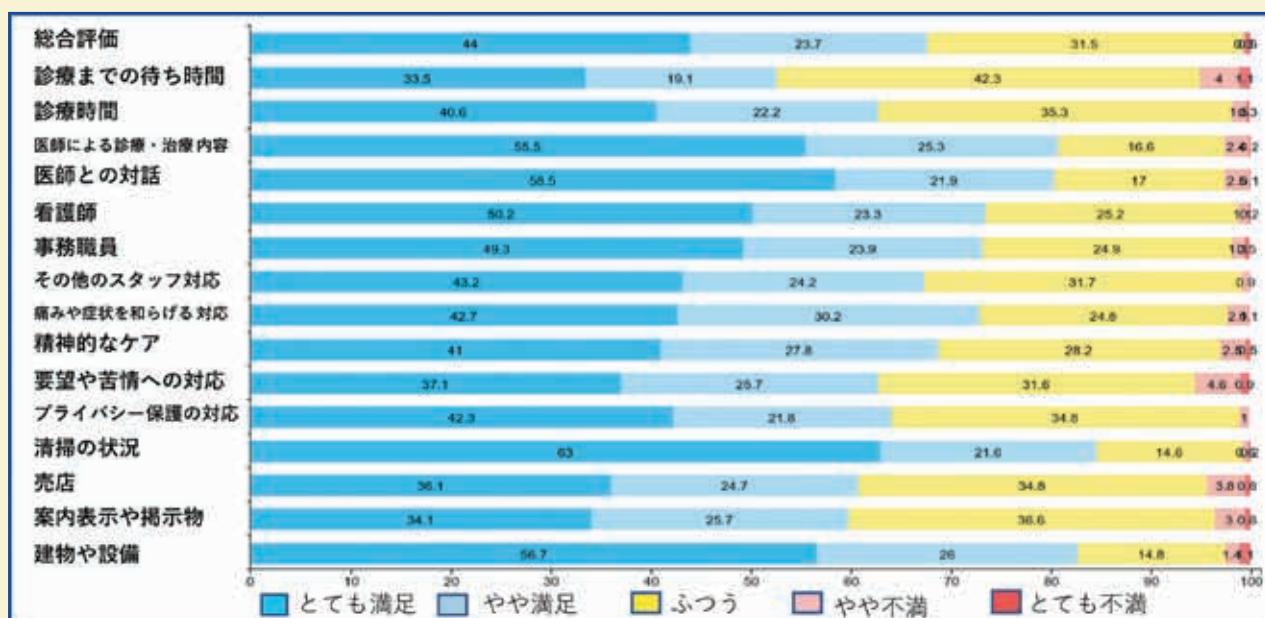
皆さまにご協力いただきました患者満足度調査結果(外来946名、入院31名)をまとめました。
これらを参考に病院のサービス向上に努めてまいりたいと思います。

サービス・マナー向上委員会委員 歯科衛生士長 手嶋 直美

調査内容

- 【外 来】①診療までの待ち時間、②診療時間、③医師による診療・治療内容、④医 師との対話、⑤看護師、⑥事務職員、
⑦その他のスタッフ対応、⑧痛みや症状を和らげる対応、⑨精神的なケア、⑩要望や苦情への対応、
⑪プライバシー保護の対応、⑫清掃の状況、⑬売店、 ⑭案内表示や掲示物、⑮建物や設備
- 【入 院】外来の1.2を除く (とても満足～とても不満までの5段階評価)

【外来結果】



【入院結果】



謝 辞

- いつも親切な対応ありがとうございます。
- 施設内が清潔感があり、診療内容の説明もしっかりしており通院に対する精神的苦痛が和らぎます。
- いつも優しく治療して下さるので、子供も安心して通えています。
- 担当の先生にはいつも丁寧に診察して頂き、安心しておまかせできるのでありがとうございます。
- 他の病院よりみなさん親切。
- 全てのスタッフの対応がとても良く気持ちがいいです。

苦情・要望

- ◆ 診察券に予約日の印字がない。
- ◆ ファックスが使いづらい。
- ◆ 屋根付きの駐輪場が少ない。
- ◆ 清算待ち時間が長い、自動精算機を増やしてほしい。
- ◆ 予約が取れない。
- ◆ 決められた時間では予約変更が出来ない、つながらない。
- ◆ 医師からの説明をもっとはっきりわかるようにしてほしい。

改善例として

- ◆ 診察券に予約日の印字がない。
 - ▶ 会計後、領収書と共に次回予約票が印字されており、次回予約票が切り取れるようになっています。
- ◆ ファックスが使いづらい。
 - ▶ わかりやすい使用方法を新たに掲示し、手元の操作もしやすいように明るくしました。
- ◆ 屋根付きの駐輪場が少ない。
 - ▶ 増設工事でご迷惑をおかけしております。30台程度置けるように計画を進めています。

創立50周年記念講堂、完成間近です



今年度、学校法人福岡学園・福岡歯科大学が創立50周年を迎える記念事業の一環として、旧病院跡地に建設しています。約550名収容の大ホールと共に、大小のセミナー室を配置し、1階にはフードコートも設置され、2022年7月の完成を目指し、工事が進められています。工事中につき、ご迷惑をおかけしますが、ご容赦くださいますようお願いいたします。

編集後記

今年度よりニュースフィアホスピタルは年2回の発行から年3回（5月・9月・1月予定）の発行に変わります。その記念すべき5月号は病院に新しく就任された教授・診療科長の先生方のご紹介を特集しました。ほかにも多くの職員を新しく医科歯科総合病院に迎えました。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

また、7月中には現在建築中の創立50周年記念講堂が完成します。新たなランドマークができる風景が変わります。

（サービス・マナー向上委員会委員 副病院長 中畑 高子）

令和4年度 齢科外来初診担当医表

総合歯科・高齢者歯科						
	月	火	水	木	金	土
午 前	山田	保健ローテーション	堤	高齢ローテーション	畠山	当番医
午 後	山田	江頭	大曲	畠山	山口	

保存科・歯周病科						
	月	火	水	木	金	土
午 前	松崎	二階堂	歯周ローテーション	保存ローテーション	大和	当番医
午 後	吉永	丸尾	松本	大城	水上	

補綴科						
	月	火	水	木	金	土
午 前	加我	高江洲	川口	宮園	谷口	当番医
午 後	濱中	山口	吉田	柴口	西村	

口腔インプラント科						
	月	火	水	木	金	土
午 前						当番医
午 後			城戸・加倉			

口腔外科						
	月	火	水	木	金	土
午 前	米津	吉住	米津	吉住	米津	当番医
午 後	吉住	米津	吉住	米津・橋本	吉住	

矯正歯科						
	月	火	水	木	金	土
午 前						当番医
午 後		安永・三宅・中嶋				

小児歯科						
	月	火	水	木	金	土
午 前						当番医
午 後	吉田	吉村・柏村	一瀬	大木・熊谷	横田	

障害者歯科						
	月	火	水	木	金	土
午 前						当番医
午 後		田崎・尾崎・利光・今村・天野・原				

口腔放射線診断科						
	月	火	水	木	金	土
午 前	筑井	香川	筑井	香川	筑井	当番医
午 後	筑井	香川	筑井	香川	筑井	

令和4年度 医科外来担当医表

内 科	月	火	水	木	金	土
午 前	司城/大星/内田	大星/富田/松元	内田/松元	藤井/大星	富田/藤井/司城	1富田 2内田
午 後()内は応援	富田/(藤井) 16:00~16:30休診	藤井/(司城)	司城/樗木/(富田)	内田/(大星)	当番医/(内田)	3司城 4藤井
研修日		内田	大星/藤井	司城/富田	松元	5大星

※金曜午後の当番医は土曜と同じ

外科・内視鏡センター	月	火	水	木	金	土
午 前	神代/石本	手術日	池田/神代/栗山	池田/神代/栗山	池田/栗山/石本	池田/栗山/石本
午 後	池田/神代/石本		手術日	神代/栗山	池田/栗山/石本	
午 後 乳腺/肛門			渋田/守永(2.4)			
研修日	石本(1.3.5)・栗山(2.4)			池田(PM)・石本(2.4) ・栗山(1.3.5)	神代(AM)	

※内視鏡センター直通携帯 080-3693-5038

心療内科	月	火	水	木	金	土
午 前(完全予約制)	澤本		金光		金光	当番医
午 後(完全予約制)	金光	澤本	澤本	澤本		
研修日		金光(9~3月)		金光(4~8月)	澤本	

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金	土
午 前	山野/西平	(新)西/(再)田中	手術日/当番医	田中/(西)	山野/西平	当番医
午 後	山野/西平	(新)田中/(再)西	当番医	(新)西/(再)田中	山野/西平	
研修日	西	西平		山野	田中	

※山野Drは外来診療担当日以外でも対応可能なことがあります(研修日を除く。要確認)

形成外科・美容外科	月	火	水	木	金	土
午前・午後(完全予約制)	萩家	萩家	萩家	萩家	萩家	再診のみ

皮膚科	月	火	水	木	金	土
午 前	吉田/伊地知	伊地知/古村	吉田/伊地知	伊地知/(吉田)	(古村)/吉田	古村
午 後	吉田/伊地知*	伊地知	吉田/伊地知	手術日	(古村)/吉田	
研修日	*パッチテスト優先	吉田	古村		伊地知	

眼 科	月	火	水	木	金	土
午 前	大島/中村陸/中村ま/前原	大島/中村陸/前原/中村ま	大島/中村陸/前原/中村ま	大島/中村陸/前原/中村ま	大島/中村陸/前原/中村ま	当番医
午 後	大島/(中村陸前原)/中村ま	手術日	大島/中村陸/前原/中村ま	手術日	中村ま/中村陸/前原	
研修日	前原(1.3)・中村陸(2.4)				大島(PM)	

※月曜午後は手術の場合あり

小児科	月	火	水	木	金	土
一般(午前)	奥園	野田	奥園	野田	野田/奥園	
午後(予防接種)(予約制)			奥園		岡田/奥園	当番医
午後(神経・発達)(予約制)	鳥巣/野田	鳥巣/野田	鳥巣	鳥巣/野田	鳥巣/野田	
研修日		奥園	野田	鳥巣(AM)		

整形外科	月	火	水	木	金	土
午 前	千々岩/永野	西尾/永野	西尾/千々岩	千々岩/永野		当番医
午 後(予約制)	西尾/(永野)	永野/(西尾)	千々岩/(西尾)	永野/(千々岩)		
研修日		千々岩	永野	西尾		